

なんと！伏木古府郵便局が美術館に！

こ ぶ こ ぶ
Kofu-kofu展」がはじまりますよ！

郵便局が美術館になった！！

アール・ブリュット **Kofu_kofu** 展

今年7月、高岡市伏木古府元町のアートNPO工房ココペリを拠点として「富山県障害者芸術活動支援センター ばーと◎とやま」が開設、富山県全域を対象として支援活動をはじめました。

アール・ブリュットや障害をもつ人の創作の魅力や支援活動について、地元伏木の地域の方々にもお伝えする機会がないだろうか、交流を深めたいと考えていたところ、伏木古府郵便局様からの思いがけないご提案と全面的なご協力をいただき、今回の企画が実現しました。

郵便局のロビーに作品を並べるだけでなく、郵便局の壁を名一杯使って作品を飾り、小さな郵便局全体がアート空間に変身します。このような形での展覧会は前例がなく、地域の郵便局だからこそできた新しい支援活動の形だと思います。

ぜひ足をお運びください。

アール・ブリュットって？

生の芸術と呼ばれる障害をもつ人などが美術的な知識や常識に左右されず衝動のままに行った表現や作品のことをいいます。フランス語でアールはアートのこと、ブリュットは生まれたまま、飾りのないなどの意味です。

どんな作品があるの？

県内で活躍する知的障害をもつアーティストの作品が飾られています。そのほとんどは呉西に住んでいて、ココペリのワークショップや自宅で創作し、個展や公募展などの受賞歴もある、がんばっている人たちです。独特の形や色を楽しんでください。

ばーと◎とやまって？

国と県から伏木古府元町を拠点とする「アートNPO工房ココペリ」が委託・助成され、県内の障害をもつ人の芸術文化活動の調査や支援、展覧会の企画などを行っています。

今回は以前より伏木でお世話になっていたココペリがKofu-Kofu展の企画をし、ばーと◎とやまが後援する形で本展を準備しました。

どうして郵便局で？

郵便局は人の思いやことばをつなぐ、なくてはならない場所です。SNSやメールの時代になっても、ここはつながりの原点。同じように美術も人と人をつなぐ力があり、アール・ブリュットはアートの原点。つなぐ者同士のコラボは、必然かもしれませんね。

会 期 9月3日(月)～9月28日(金) 開局時間観覧可、土日祝はお休みです。

問い合わせ 伏木古府郵便局 0766-44-1982

または アートNPO工房COCOPELLI(ばーと◎とやま) 070-2643-0796